

竹の子だより

第99号 平成27年3月28日(土) 発行

発行責任者 坂井 正志

編集 明星会広報委員会

発行 社会福祉法人 明星会

〒250-0052 神奈川県小田原市府川 752-5

TEL 0465-32-7740 E-mail info@takenokogakuen.jp

FAX 0465-32-7741 HP <http://www.kanagawa-id.org/takenoko/>

事業 竹の子学園 竹の子ケアセンター パン工房ハッピー 竹の子ホーム 相談支援センターエール ハッピー・ONE・STEP

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。



QRコード



梅見





新年度に向けて



竹の子学園施設長

坂井 正志

社会福祉法人明星会の来年度の取り組みを述べていただきます。

竹の子学園は、引き続き地域移行を推し進めていきますが、もろもろの課題があり、なかなか進まないのが現状です。今、計画相談が佳境に入っていて今年度中には一〇〇％実施は難しい状況ですが、なぜサービス利用計画が必須になったのか考えると地域移行の推進は当然です。個々のニーズに応じたサービスを提供することは事業所として当たり前のことなのです。昨年、日本もはれて障害者権利条約を批准しました。「私たちは、どこで誰と一緒に暮らすのか、自分で選ぶことができます。私たちは、入所施設で暮らすことを、命令されることはありません。」条文を引用しましたが、このことを常に頭において支援をしていきます。

竹の子ケアセンターは、移転を考えています。入所と併設でここまで来ましたが、定員三十名では、昼食の問題、スペースの問題等、利点より弊害のほうが大きくなってきました。現在、物

理事会報告

【平成二十六年 第二回理事会】が、平成二十六年十一月十一日、竹の子学園グリーホール1階にて開催され、以下の議題を審議しました。

- ① 第一期三方年計画 進捗状況報告
- ② 平成二十六年度事業計画 進捗状況報告

【平成二十六年 第二回監事会】が、平成二十七年一月二十九日、竹の子学園グリーホール1階にて開催され、真壁監事、真田監事により平成二十六年度の業務執行状況及び財産の状況について監事監査を行いました。

【平成二十六年 第二回評議員会及び第三回理事会】が、平成二十七年一月二十九日、竹の子学園グリーホール1階にて開催されました。午後一時三十分より評議員会において以下の議題について審議しました。

議題第一号 パン工房ハッピー 食堂裏地購入について

面積 九・八五 平方メートル
購入価格 二九七、九〇〇円

議題第二号 竹の子ホーム スプリングラー設置工事について

沼田荘にスプリングラーを設置する。費用の半分は神奈川県「社会福祉施設等耐震化等臨時特例交付金事業費補助金」の交付を受ける。

議題第三号 竹の子学園給湯室移設について

給湯設備の老朽化に伴い、給湯室の場所を移動する。事業としては来年度行うこととする。

議題第四号 竹の子ケアセンター 移転計画について

竹の子ケアセンターを現状の竹の子学園併設ではなく、近隣の別の場所に移転できるかについて検討審議した。

議題第五号 諸規程の改定について

「パン工房ハッピー工賃支給要綱」及び「パン工房ハッピー消防計画」について現状に合わせるため、改定する。

議題第六号 役員及び評議員の改選について
役員（理事・監事）は全員留任。評議員については三月の評議員会・理事会に決定する。

その他

① 監事監査報告

② 情報公開について

引き続き午後三時より、理事会が開催されました。

議案第一号 パン工房ハッピー 食堂裏地購入

議案第二号 竹の子ホーム スプリングラー設置工事

議案第三号 諸規程改定

議案第四号 役員改選

以上について、評議員会の審議を踏まえ承認されました。

また、新役員の互選により、安藤進理事が理事長に指名され、理事長の代理に、坂井理事が指名され、承認されました。

職員全体研修

第三十六回職員全体研修を二月六日に実施しました。研修の内容は『障害者虐待防止法の理解と対応について』として平成二十六年神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修を受講された、竹の子ホームの佐藤光夫サービス管理責任者とパン工房ハッピーの安藤智美サービス管理責任者に伝達研修をお願いしました。

虐待の芽に気付く事、利用者さんの思いに気付く事、また虐待を認定された後の対応について理解を深めることを目的として、前半に講義を行ない、後半にグループワークとロールプレイを行いました。

虐待の種類は大きく分類して「身体的虐待」「放棄・放置（ネグレクト）」「心理的虐待」「性的虐待」「経済的虐待」の五つに分かれます。施設で働く職員がなぜ虐待を起こしてしまうのか。それは実際に働いてみると、コミュニケーションの取りにくさや感情のコントロールの難しさ、自分の想いを伝えることの難しさ等に直面し、ストレスとなり、虐待への一

歩に繋がる可能性があるそうです。小さな虐待から大きな虐待へエスカレートすることがあるので日々「これって虐待？」と考えながら利用者の目線に立ち、仕事をしていくことの大切さを感じました。

またロールプレイとグループワークでは、事例をもとに、実際に利用者役と職員役を演じてみてどう感じたか。また周りで見ている人がどう感じたかを話し合い、どのようなところが虐待に当たるのかを検討したり、虐待と認定された後に利用者さんが虐待のない日常に戻るまでのことを考えて意見を出し合いました。



・起こってしまったことは包み隠さずきちんと謝罪をすること。
・利用者さんやご家族に寄り添った支援をしていくこと。

・障害特性や虐待のことに関する研修を受け知識を深めること。

等、大切なことを改めて学びました。

（鈴木秀和）

実践報告会

二月十三日（金）に神奈川福祉会館で行なわれた実践報告発表会に参加してきました。

午前中は佐々木正美先生（ぶどうの木・児童精神科医）による「発達障害・自閉症の理解と支援」をテーマにした基調講演がありました。

その中でも印象に残ったのが、先生のご子息の記憶力のお話です。障害をご子息に対し先生御自身は怒ったことは一度もないと思われていたことが、ご子息が鮮明に二回怒られた事を何年経っても覚えていたそうです。私達の記憶力よりも遙かにすごい所が印象的でした。

午後からは七つのテーマの分科会に分かれて発表を行いました。

「地域のくらしへの支援（地域定着等含めて）」という分科会に配属され、私たちは「大規模地震発生時の職員の動きと地域との関係」をテーマに実践報告を行なってきました。事前のプレゼンや他職員から色々なご意見を頂いた事でとても良い発表が出来ました。改めて実践報告会を

行なったことにより、地域との関わりや普段からの防災意識が大事なことが分かりました。今回学んだことを活かしていきたいと思っています。

（和田英晴）

自主勉強会の取り組み

明星会では今年度も研修委員会主催の自主勉強会を月一回開催しています。内容は『医療基礎編・発展編』や『防災用具の取扱い方』『社会マナーテスト』など色々なジャンルにわたり、知識を深める良いきっかけになっています。

小田原ハローワークの加藤様の講演『障害者就労支援の実態』では、普段なかなか知ることの出来ないテーマということで参加者も多く、みなさん熱心にメモを取っている様子が見られました。

来年度も職員それぞれのニーズに合わせた勉強会を企画し、日々の支援に活かして行きたいと思っています。

（遠藤愛香）

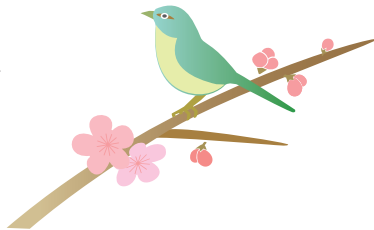
あおぞらパーティー

あおぞらパーティー意見発表会のため、平成26年12月9日に大和市健康福祉センターへ行きました。

当日は少し寒いものの天気がよく、参加者みなさんの表情も晴れやかな様子でした。総合司会の方とグループの司会をする方は、少し緊張しているものの2人とも「頑張ります」と張り切っていました。

午前はテーマ別にグループへと分かれての話し合いで、司会に抜擢された2人はそれぞれ頑張って段取りを進めてくれ、参加した他の方たちも色々と討論をされていました。

午後は午前中に話をした内容の発表をしてから、バンド演奏を聴いて
楽しまれ、みなさん、
また来年も参加したいと話されていました。（近藤）



竹の子祭報告



平成26年度も地域の皆様とボランティアの皆様のご協力の下、盛大に竹の子祭を開催できました。11月23日は連休の中日と言う事と素晴らしい天候に恵まれ、沢山の方に来場して頂きました。来場された方から「今年も楽しみにしていました。また皆さんの笑顔に会えるのが嬉しくて」と温かいお言葉を頂きました。このような行事を行う事で少しずつ地域の方に竹の子学園を知ってもらえる機会ができ、うれしく感じます。

平成27年度は第20回になります。今年度よりも来年度、来年度よりも再来年度と続けていき、地域の方やボランティアの方、竹の子学園の利用者の方がいつまでも笑顔で楽しめる竹の子祭に繋がっていきたいと思います。ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。（廣澤）



県西障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター（圏ナビ）事業では、県西地域の相談支援等ネットワークづくりの一環として、人材育成と地域のネットワークづくりを目的とした研修会の主催・共催、周知活動を主に行ってきました。12月に主催した研修会では、県主催「障害者虐待防止研修」を受講された方々と共に伝達研修を企画し、法人の枠を超えた職員が演じる寸劇をもとに、グループワークを通して理解しやすい研修会となりました。このように地域のマンパワーを様々な活動に繋げていくことがネットワーク形成に必要なことだと認識いたしました。27年度の活動

地域のマンパワー

も「地域のマンパワー」と共に歩んでいきたいと考えております。

（相談支援センターエール

露木とし）



竹の子ケアセンター懇談会

平成27年度の事業について定員30名が竹の子学園と併設している現状には限界があり、ケアセンターが地域に移転し独立することで安定した運営ができるのではないかと考え、来年度から準備に入るとの説明がありました。

平成26年度は、創作活動を開始して組木パズルやリース等を作り日中活動の充実を図れるように取り組んでおり、地域に貢献できるよう相模沼田駅前の掃除を利用者さんが月2回行くと、地域の方から「ご苦労様」と温かい言葉を掛けていただき、地域の方々に見守られていることの嬉しさを感じ今後の励みとなります。

多数の参加者が真剣に向き合う姿勢に私たち職員は、責任があることを再認識させられました。

（細野真理子）





クリスマス会では歌って踊って盛り上がりました♪
ディナーも豪華で美味しかったよ!

竹の子学園

レクリエーション

あけましておめでとうございませう!
初詣に平塚八幡宮へ行ってきました!



どんど焼きもしました♪



ときどきのおみくじ♪



節分の日は
鬼は外!
福は内!!



「乗車券拝見
しまーす。」

旬のいちごは
おいしいね!



足湯で
のんびり♪
あったかい!

パン工房ハッピー 日帰りレクリエーション in 熱川イチゴ狩り



電車では食べる
駅弁は格別!



火加減は任せとけ!



頑張っ下ごしらえ



竹の子ケアセター レクリエーション

あいにくの雨でしたが...

屋根付の炊事場で鍋でごはんを炊いたりカレーを作りました!
釜戸の火で焼きマシュマロを食べたりデザートにフルーツポンチも食べました!



焦がさないように...
でも早く食べたいなあ



みんなで作った
カレーは
味違うね!



竹の子ホーム 交流会

会場おいしい料理やお酒をたくさんいただきました。みなさん宴会で盛り上がりたり懐かしい友人に会えたりととても楽しんでいました。もちろん温泉にもゆったりつかって日ごろの疲れを癒してきました。(安藤)





寄付

洗足こども短期大学様
A I U 保険会社様
伊豆箱根タクシー様 有限会社丹沢交通様
有限会社小田原消毒様
富士ゼロックス株式会社様
ダイドードリンコ株式会社様
株式会社渡辺商事様 安藤石油株式会社様
にじの丘足柄様 奥津精米店様
さがみ信用金庫沼田支店様
株式会社中商様 株式会社鈴廣様
ヤマト食品株式会社様
有限会社わかば調剤薬局様
株式会社アポルテ様 株式会社マウント様
ソーダエンジニアリング様
株式会社社石井商會様 株式会社稲妻屋様
日野自動車株式会社様
J A かながわ西湘岡本支店様
おだわら諏訪の原公園様
有限会社三木電気様 有限会社内田畳店様
神奈川日産自動車会社様
有限会社スギキン様
かながわ西湘農業協同組合様
第一生命保険会社様 和泉短期大学様
株式会社三ツ星電器製作所様
相日防災株式会社様
光海学園様 大内病院様
神奈川県厚生農業協同組合連合会様
高橋電気管理事務所様 (二月二十八日現在)

バスケット招待



二月二十二日に横浜ビー・コルセアーズと言うプロバスケットボールチームより招待を受け、トッケイセキユリテイ平塚総合体育館へ行ってきました。バスケットボールの試合を生で見ることが初めての方達ばかりでしたが、チアリーダーの応援や周りの方の応援に合わせて楽しそうに応援されていました。(廣澤)

竹の子ケアセンター 相模沼田駅ゴミ拾い活動



「ゴミあつたよ」「こんなにいっぱいだ！」みんなの声が響きます。トングをカチカチ鳴らしながらゴミをまたいで行くので、「そこにゴミ落ちてますよ。」と声を掛けていきます。自転車置き場を分け入り、タバコの吸殻やガムの包み紙を拾います。沼田駅前掃除を昨年八月、五名の利用者の方々と始めて半年が経ちました。道行く方々に「こんにちは」と挨拶すると「ご苦労様」と返事を返してくれます。



これからも地域での活動を通して多くの方々と触れ合う機会を作って行きたいと思います。(小島)

退職ごあいさつ

竹の子ホーム所属

生活支援員 安藤 進太郎

四年間ありがとうございました。明星会発展の為、今後は他法人へ学びに行つてまいります。



パン工房ハッピー所属

栄養士 仙田 美穂

出産・育児の為、今年度を持つて退職させて頂く事となりました。短い間でし



新任職員紹介

相談支援センターエール所属

相談支援専門員 高橋 初美

一月より常勤職員

として働かせていただきます。相談支援センターエールで利用計画作成等を行っています。趣味は、ガーデニングです。今後ともよろしく願っています。



二月より竹の子ホーム世話人として小島弥生さんが加わりました。

医務室より



今年はインフルエンザが大流行しましたが、これを読むころには落ち着いていくのでしょうか？と、言っても現在ではインフルエンザは季節を問わずかかる病気です。風邪と症状が似ていますが、かかると最悪の場合、脳症や死に至ることがある怖い病気です。普段からの健康管理、外出から帰ってきたときは当然ですが、また食事前の手洗い、うがいも重要です。これは一年を通して行いましょう。咳をしている人がいればマスクをしてもらいましょう。マスクをしていても横から漏れて効果がないと言われていますが、それでも直接されるよりはまだマシです。咳エチケットも大事です。咳をするときはマスクをしていても口元を抑えて周りに飛ばないように行なって下さい。調子が悪いと思ったら自己判断せず病院へ行きましょう。(安岡)

編集後記



竹の子だよりも九十九号を数えますが一号の発行は二十一年前まで遡ります。始めは手書きで綴られていた竹の子だより、皆さまに明星会のことを知って欲しいという願いのもと作成されていたことと思います。

次号からはカラーでの発行です。今後もしよろしく願っています。(美濃島)